

*本資料の配布先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、
大分県政記者クラブ、別府市政記者クラブ、文部科学記者会

NEWS RELEASE



2022. 4. 21

報道関係者 各位

< 配信枚数2枚 >

ウクライナ侵攻で影響を受けた学生を 立命館大学・立命館アジア太平洋大学（APU）が受け入れへ 学費免除・生活支援（月 10 万円）・渡航支援を実施

学校法人立命館は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響で教育や研究を続けられなくなった学生を一時的に受け入れることを決定いたしました。

本学園では、3月18日付け「総長メッセージロシアによるウクライナへの軍事侵攻について」において、ロシアによるウクライナ侵攻で影響を受けている学生へ可能な限りの対応を行うことを発表しました。その後、ウクライナ避難民を支援するための募金活動や避難民受け入れに向けた調整を進めてきました。

このたび、ウクライナ侵攻によって学びと研究の機会が損なわれた学生（避難民）の非正規生としての受け入れ、および、本学園の大学に入学または入学予定の学生（正規生）のうち、ウクライナ侵攻による家計急変等の事情によって修学が困難となった学生への経済的支援を行います。

平和と民主主義、非暴力を掲げる本学園の取り組みが、学生の未来につながる学びの機会となり、ウクライナ支援の一助になれば幸いです。

■学生（避難民）の非正規生としての受け入れについて

対 象: ウクライナ侵攻により学びと研究の機会が損なわれたウクライナの学生および周辺国・地域の学生（5人程度） ※非正規生として一時的（1年間を目途）に受け入れる

支援内容: ①渡日支援: 渡航費用や渡日に必要なサポートを行う

②生活支援: 1人月額 10万円×滞在月数

③住居支援: 立命館学園が設置する国際寮で受け入れる（寮費等は免除）

④授 業 料: 全額免除

⑤そ の 他: 日本での生活をサポートするために必要な体制（生活、日本語を含めた学修支援、国際交流企画等）を整える

■本学園に入学または入学予定学生（正規生）への経済支援

対 象: ウクライナ侵攻による家計急変等の事情によって修学が困難となったウクライナの学生、および周辺国・地域の学生（3人程度）

支援内容: ①渡日支援: 渡航費用や渡日に必要なサポートを行う

②生活支援: 1人月額 10万円×1年間（ただし情勢に応じて在学期間中支援）

③住居支援: 立命館学園が設置する国際寮で受け入れる（寮費等は免除）

④授 業 料: 「ウクライナ侵攻によって修学困難となった外国人留学生・国際学生を対象とした特別奨学金制度（仮称）」を設け、授業料免除を行う

※生活支援や渡航支援等に係る費用は、分林保弘氏（株式会社日本 M&A センター代表取締役会長、学校法人立命館館賓）をはじめとする寄付者の方々の寄付金を原資としたサポートを予定しています。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

学校法人立命館広報課 担当: 名和・立岩 TEL.075-813-8300

別紙

■仲谷 善雄 立命館大学長のコメント

立命館大学は、ロシア軍のウクライナ侵攻に伴い、学業や研究活動を継続することが困難となった大学生および大学院生を、受け入れることを決定いたしました。

本学は、1900年に創設以来、建学の精神を「自由と清新」、教学理念を「平和と民主主義」とし、世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献するという教育・研究機関としての根源的な使命と役割を明示し、行動してきました。キャンパスには、2,600人を超える外国人留学生が学んでおり、国境、文化、言葉、価値観の垣根を超えた真の国際人材を育成する、ダイバーシティに富んだ環境を整えています。

日々刻々と状況が変わるウクライナでは、多くの学生が大学で学べる環境にはありません。本学は、そのような学生たちを一人でも多く支援し、学業と研究活動を継続できる環境を提供いたします。



■出口 治明 立命館アジア太平洋大学長のコメント

「自由・平和・ヒューマニズム」を開学宣言に掲げ、世界中から多様なバックグラウンドをもつ学生が集まり学びあう立命館アジア太平洋大学にとって、戦争によって多くの若者の学びの機会が失われてしまっていることをとても悲しく思っています。

ウクライナの未来を担う学生の皆さんに、できる限りの支援をさせて頂きたいと思います。

APU2030ビジョンでは「APUで学んだ人が世界を変える」としています。私たちはこれからも紛争や戦争のない平和な未来を実現することを目指して、人材育成に努めていきたいと思っています。

世界に平和な一日が、一刻も早く訪れることを心から祈っています。



【本学園のウクライナ避難民の方々への支援活動】

■ウクライナ避難民の方々を支援するための募金活動

立命館学園の教職員、学生・生徒・児童、校友、保護者、一般の方々を対象とした募金活動を、3月18日～4月30日の期間、大学HPを活用して実施。集まった募金はUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)を通じてウクライナ避難民の方々にお届けします。

■ウクライナ避難民の受け入れにかかわる支援協力

ウクライナ避難民の方々を受け入れるにあたり、自治体等とも連携して、大学として可能な支援協力(国際寮など住居提供、日本語学習のサポート、交流プログラムの提供など)を行います。